



年 組 名前

道新ワークシート

道内在住ウクライナ人

日本への避難進展期待

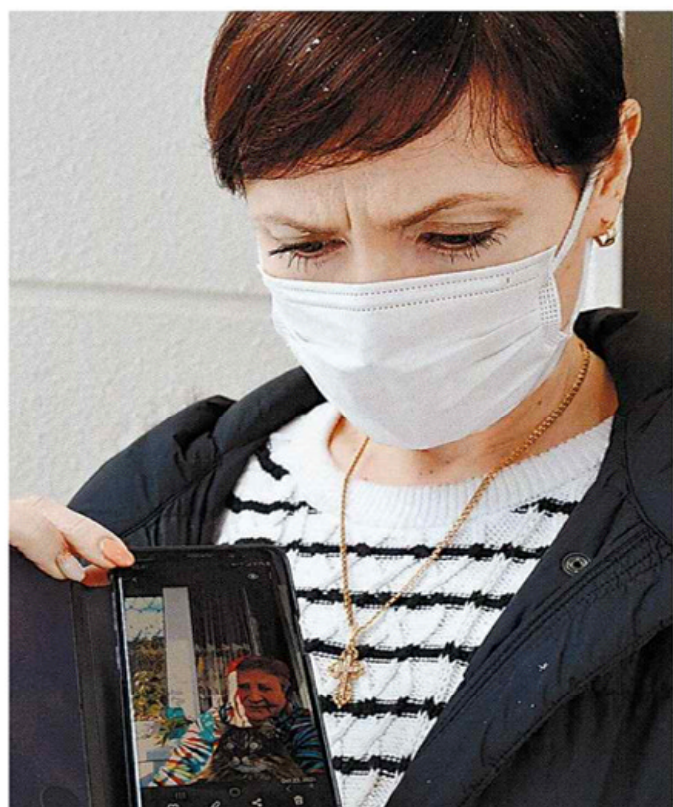
家族思い「一刻も早く」

ロシアのウクライナへの軍事侵攻が激化する中、道内在住のウクライナ人が、日本への避難民の受け入れの進展を期待している。政府は8日、すでに避難民8人が入国したと発表した。まず隣国ポーランドなどに自力で逃れ、日本の在外公館で査証（ビザ）の発給を受けることが必要。ウクライナに残る家族や知人の中には自力での脱出が難しい人もおり、道内のウクライナ人は「避難民の受け入れはうれしいが、先行きは見通せない」と話している。

（田鍋里奈）

「不安で眠れない日々の中、希望の光が見えた。柔軟な受け入れに感謝する」。ウクライナ出身の北大職員タチアナ・ハタエワさん（40）札幌市在住は9日、日本政府がウクライナからの避難民を受け入れたことを歓迎した。ハタエワさんは首都キエフから約300キロ南東のクレメンチュ

ーク出身。キエフの大学で日本語を学び、2005年に北大へ進学し、18年からは同大職員として日口の学生交流に携わってきた。故郷のクレメンチュークには、今も母（73）が1人で暮らす。膝が悪く、国境を越えるような長距離をバスや列車で移動することは難しいという。ロシアの侵攻



開始直後、ハタエワさんは母を迎えに行こうと考えたが、ウクライナの空港は全て閉鎖され、道中の安全も確保できないと断念した。「テレビ電話で話しているが、電話を切った瞬間に不安になる」と語る。国連難民高等弁務官事務所（UNHCR）によると、ウクライナからの避難民は200万人超。日本政府はポーランド、ルーマニア、

モルドバなどの在外公館で90日間の短期ビザを発給しており、在日ウクライナ人約1900人の親族や知人が来日する可能性が高いとみているが、どこまで膨らむかは不透明だ。政府は在留期間延長や就労可能な資格の付与も検討する。ただ、ウクライナでは国外へ向かう主要道路や列車は混雑しており、ロシア軍による市街地への砲撃で混乱が拡大している。ハタエワさんは「母を日本に一刻も早く避難させたいが現状は難しく、状況を見守るしかない」と不安げに話した。スマートフォンに保存している母の写真を手にするハタエワさん

2022年3月11日（金）朝刊 全道版 30ページ（記事は再編集しています）

- ①3月8日の時点で、ウクライナから日本に入国した避難民は、何人でしょう。
- ②あなたは、今後、ウクライナから日本への避難民が増えると思いますか。あまり増えないと思いますか。2つの中からどちらかを選び、理由も書きましょう。
- ア. 増える イ. あまり増えない
- 理由：
- ③あなたなら、タチアナ・ハタエワさんにどのような言葉をかけますか。目の前にハタエワさんがいるつもりで書きましょう。